

受講生へのお知らせ

夏学期集中講義

211-14「比較教育社会史と帝制期ロシアの教育構造」(担当教員:橋本 伸也)

1.橋本伸也「歴史のなかの教育と社会—教育社会史研究の到達と課題—」『歴史学研究』第830号を事前に読んでおくこと。

2.『叢書・比較教育社会史』(全7巻、昭和堂、2003-2010)に掲載された論文から、自身の関心に応じて一篇を選んで

概要紹介・コメントすること(各自、A4・1-2枚程度のメモでけっこうです)。